学校番号	２０２

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　数学Ⅲ」（数研出版）						
副教材等	「チャート式 解法と演習　数学Ⅲ＋C」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、主体的に考え、学習に取り組む活動を行います。
・授業の後には必ず復習を行い、学習内容をしっかり習得できるようにしてください。また、疑問が残るところを放置せず、必ず理解できるまで、学習を続けてください。
・授業用ノートと問題集用ノートを用意してください。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。途中式や考え方も書くようにしましょう。解答後は各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。
・定期的に、達成度を見るための小テストを実施します。

2　学習の到達目標

関数、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育成します。
（１）　関数、極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理や法則を理解し、事象を数学的に捉え、表現、処理する技能を身に付ける。
（２）　数式、グラフ、図形などの関係を理解し、事象を数学的な考え方で分析したり、表現したりする。
（３）　数学的な考え方のよさに気づき、自らの思考過程を振り返りながら、粘り強く問題解決に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	関数、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、関数、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	関数、極限、微分法及び積分法の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
1学期	関数	複素数平面・式と曲線	分数関数 無理関数 逆関数 合成関数	a．連立方程式を解くことで、分数関数や無理関数のグラフと直線の共有点の座標を求めることができる。 b．分数不等式や無理不等式の解を、グラフと直線の上下関係に読み替えることができる。 c．分数関数や無理関数に関心をもち、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
	極限	関数・極限	数列の極限 無限等比数列 無限級数 関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性	a．数列の極限、関数の極限について理解し、それらを求めることができる。 b．関数の極限を利用し、関数の連続性を判断することができる。 c．極限の考え方に関心をもち、数列や関数の極限の概念を理解しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
2学期	微分法	微分法	微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 第ｎ次導関数 曲線の方程式と導関数	a．導関数の性質、積、商、合成関数の導関数、逆関数の微分法を理解し、導関数の計算に利用することができる。高次導関数の定義、表記を理解し、いろいろな関数の高次導関数を求めることができる。 b．微分の考えを利用し、ｎ次導関数や曲線の方程式に活用することができる。 c．いろいろな関数の微分に関心をもち、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
		微分法の応用	接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ 方程式、不等式への応用 速度と加速度 近似式	a．直線上や平面上を運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、点の座標が与えられたときにそれらを求めることができる。導関数を利用して、いろいろな関数の近似式を作り、近似値を求めることができる。 b．平均値の定理を利用して、導関数の符号と関数の増減の関係を証明する方法を理解することができる。 c．微分の考え方を活用し、加速度や近似式の計算などに応用的に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート
2学期・3学期	積分法とその応用	積分法とその応用	不定積分とその基本性質 置換積分と部分積分法 いろいろな関数の不定積分 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法（定積分） 定積分のいろいろな問題 面積 体積 道のり 曲線の長さ	a．置換積分法や部分積分法など、応用的な積分を求めることができる。置換積分法や部分積分法などを利用して、円など曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。 b．積分の考え方を利用し、体積や道のり、曲線の長さを求めることに活用することができる。 c．積分の定義や性質を理解し、それらを利用して、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 問題集 ノート	定期考査 問題集 ノート	観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度